

2.各学科等の教育

入学者に関する受入れ方針

◆応募資格

- ・2025年3月 高等学校卒業見込みの方、または同等の資格を有する方
- ・普通自動車運転免許（MT免許）も取得が可能な方
- ・全学科とも実技習得が可能な方

（留学生）

- ・高等学校卒業、または同等の資格を有する方
- ・N1、N2を取得済の方もしくは認定された日本語教育機関で6ヶ月以上の教育を受けた方（入学までに6ヶ月以上となる方を含む）
- ・在籍中の学校の出席率（時間数）が90%以上である方
- ・在学中に必要な、すべての経費の支払い能力のある方
- ・普通自動車運転免許（MT免許）の取得が可能な方
 - ※自動車整備科／一級自動車研究開発学科：1年次の11月までに取得のこと
 - ※自動車整備留学生科：2年次の11月までに取得のこと
- ・日本国内に「緊急連絡先」となってくれる人がいる方（外国籍の方の場合は日本語が理解できる人）

◆選考方法

出願区分に応じた選考方法にて選考

◆求める人物像

ホンダ学園の建学の精神に基づき、「夢があり、夢に向かって努力できる、何事にも積極的にチャレンジできる」方

- ① クルマやバイクが好きで、将来、自動車業界で活躍したい
- ② 人間性が豊かで好奇心に満ち溢れている
- ③ 明るく活発で、何事にも積極的な取り組み姿勢がある
- ④ 夢があり、好きなことには何事にも努力できる
- ⑤ 他の人の意見を尊重し、周りへの気配りができる

入学者数、収容定員、在学学生数

(人数)

学科	年度	1年			2年		3年			4年		合計		
		収容定員	入学者数	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	編入学生数	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	期首学生数	
一級自動車 研究開発学科	2022	100	75	76	100	64	100	0	56	50	27	350	223	
	2023	100	63	63	100	62	100	3	58	100	50	400	233	
	2024	100	68	71	100	59	100	1	60	100	53	400	243	
自動車 整備科	2022	100	75	79	100	93						200	172	
	2023	100	54	60	100	79						200	139	
	2024	75	63	65	100	53						175	118	
自動車整備 留学生科	2022	50	40	40	75	74	50			49			175	163
	2023	50	23	23	50	38	75			72			175	133
	2024	75	64	65	50	21	50			36			175	122

カリキュラム

教育科目別時間配分表

〔一級自動車研究開発学科 一級自動車整備士コース〕

教科	区分	教育科目	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
専門科目	学修	自動車工学	200	170	80	0	450
		自動車整備	110	80	180	0	370
		機器の構造・取扱い	34	0	15	0	49
		自動車検査	0	23	5	0	28
		自動車法規	0	23	10	0	33
		自動車概論	0	0	30	100	130
		小計	344	296	320	100	1,060
	実習	工作作業	23	0	10	0	33
		測定作業	45	0	10	0	55
		自動車整備作業	624	522	460	0	1,606
		自動車検査作業	0	56	20	0	76
		体験実習	0	0	0	200	200
		評価実習	0	0	0	550	550
		サービスマネジメント	0	0	100	50	150
小計	692	578	600	800	2,670		
一般科目	必修	安全運転	22	14	0	0	36
		接客実務	18	18	0	0	36
		特別講座	0	108	0	0	108
		経営概論	0	0	30	30	60
		営業実務	0	0	60	60	120
		情報処理技術	0	0	30	30	60
小計	40	140	120	120	420		
卒業に必要な時間数			1,076	1,014	1,040	1,020	4,150
各教科以外の教育活動			88	182	100	100	470
合計			1,164	1,196	1,140	1,120	4,620

教育科目別時間配分表

〔一級自動車研究開発学科 自動車研究開発コース〕

教科	区分	教育科目	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	
専門科目	学修	自動車工学	200	170	0	0	370	
		自動車整備	110	80	0	0	190	
		自動車技術	0	0	240	336	576	
		機器の構造・取扱い	34	0	0	0	34	
		自動車検査	0	23	0	0	23	
		自動車整備法規	0	23	0	0	23	
		小計	344	296	240	336	1,216	
	実習	必修	工作作業	23	0	0	0	23
			測定作業	45	0	0	0	45
			自動車整備作業	624	522	0	0	1,146
			自動車検査作業	0	56	0	0	56
	小計	692	578	0	0	1,270		
	基本技術	必修	設計技術	0	0	73	0	73
			加工技術	0	0	81	0	81
制御技術			0	0	65	162	227	
計測技術			0	0	48	32	80	
小計	0	0	267	194	461			
応用技術	必修	工作作業	0	0	316	324	640	
		小計	0	0	316	324	640	
研究	必修	試験研究	0	0	186	32	218	
		課題研究	0	0	0	162	162	
		企業実習	0	0	64	0	64	
		小計	0	0	250	194	444	
合計			1,036	874	1,073	1,048	4,031	
一般科目	必修	安全運転	22	14	0	0	36	
		接客実務	18	18	0	0	36	
		特別講座	0	108	0	0	108	
		英語	0	0	64	64	128	
		小計	40	140	64	64	308	
卒業に必要な時間数			1,076	1,014	1,137	1,112	4,339	
各教科以外の教育活動			88	182	30	60	360	
小計			1,164	1,196	1,167	1,172	4,699	

カリキュラム

教育科目別時間配分表〔自動車整備科〕

教科	区分	教育科目	1年次	2年次	合計	
専門科目	学	必	自動車工学	200	170	370
			自動車整備	110	80	190
			機器の構造・取扱い	34	0	34
			自動車検査	0	23	23
			整備に関する法規	0	23	23
	小計		344	296	640	
	実習	必	工作作業	23	0	23
			測定作業	45	0	45
			自動車整備作業	624	522	1,146
			自動車検査作業	0	56	56
小計			692	578	1,270	
一般科目	必	安全運転	22	14	36	
		接客実務	18	18	36	
		特別講座	0	108	108	
小計		40	140	180		
卒業に必要な総授業時間数			1,076	1,014	2,090	
各教科以外の教育活動			88	182	270	
合計			1,164	1,196	2,360	

教育科目別時間配分表〔自動車整備留学生科〕

教科	区分	教育科目	1年次	2年次	3年次	合計	
専門科目	学	必	自動車工学	180	200	170	550
			自動車整備	90	110	80	280
			機器の構造・取扱い	15	34	0	49
			自動車検査	0	0	23	23
			整備に関する法規	15	0	23	38
	小計		300	344	296	940	
	実習	必	工作作業	20	23	0	43
			測定作業	20	45	0	65
			自動車整備作業	560	624	522	1,706
			自動車検査作業	0	0	56	56
小計			600	692	578	1,870	
一般科目	必	安全運転	18	6	3	27	
		日本語教育	18	6	0	24	
		接客実務	0	8	0	8	
		特別講座	18	0	43	61	
		小計	54	20	46	120	
卒業に必要な総授業時間数			954	1,056	920	2,930	
各教科以外の教育活動			88	98	202	388	
合計			1,042	1,154	1,122	3,318	

学則

第5章 学習の評価、課程修了の認定、卒業及び転科

(履修の方法)

第18条 履修の方法に関し必要な事項は、校長が別に定める。

(学習の評価)

第19条 学習の評価は、学科については筆記試験により、実技については実技試験により行う。

但し、校長が必要と認めるときは報告書の提出、又は、「教育科目履修等認定委員会」の認定をもってこれにかえることができる。

- 2 筆記試験は、各科目ごとに行なう平常試験、期末試験及び卒業試験とし、校長が必要と認めるときは臨時に試験を行なうことができる。
- 3 病気、その他やむを得ない理由で試験を欠席した者については、追試験を行う。
- 4 第2項の試験の結果、不合格の科目がある者に対し、その科目について願い出により再試験又は、特別補講を行うことができる。
- 5 学生が本校以外での学修をもって、本校の教育科目を修了したものと見なすことを願い出た場合は、「教育科目履修等認定委員会」において審査し、これを修了したものと認定することができる。

(課程修了の認定)

第20条 各学年の課程の修了は、その科目の出席状況及び学習の評価を勘案して学年末に認定する。

- 2 前項について、事情により学年末に認定できない場合は、別の定めにより、これを認定することがある。
- 3 一級自動車研究開発学科においては、2学年の課程の修了をもって修了証を交付する。
- 4 自動車整備留学生科においては、1学年の課程の修了をもって修了証を交付する。

進級・卒業の要件等

(原級留置)

第21条 各学年の所定の科目を修了することができなくなった学生について教育上必要があるときは、原級に留め置くことがある。

- 2 一級自動車研究開発学科に入学した1種養成施設における一級自動車整備士養成課程の受講に必要な二級自動車整備士資格を有しない者については、遅くとも、3年次当該年の最初に行われる二級自動車整備士試験合格発表時に所定の資格を取得できる見通しが無い場合は次年度も原級に留め置く。

(卒業、称号の授与)

第22条 校長は、試験等に合格し、本校所定の課程を修了した者には、卒業証書(別紙)を授与する。

- 2 前項により、工業専門課程自動車整備科、工業専門課程自動車整備留学生科を修了した者には、別紙により専門士(工業専門課程)の称号を授与する。
- 3 第1項により、工業専門課程一級自動車研究開発学科を修了した者には、別紙により高度専門士(工業専門課程)の称号を授与する。

(転科)

第23条 学生が在籍学科以外の学科への転科を希望する場合は、選考の結果、これを許可することがある。

細則

(学習評価の基準)

第17条 学習評価の時期は、各学期末及び全科目修了を認定する時とする。

2 各学期末の学習評価は、平常試験、報告書及び期末試験を総合して評価する。

3 学習評価は、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

(1)5:特に成績優秀なもの

(2)4:成績良のもの

(3)3:成績普通のもの

(4)2:成績やや劣るもの

(5)1:成績特に劣り、不合格のもの

4 評価は、次の基準による。

●試験点数の評価

(1)5:90～100点

(2)4:75～89点

(3)3:60～74点

(4)60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

●報告書の評価

(1)5:非常に優れている

(2)4:優れている

(3)3:普通

(4)2:やや劣る

(5)1:劣る(再提出の必要がある)

5 期末及び卒業試験の合格点は、各科目毎に100点満点による60点以上とする。

6 追試験又は再試験等の得点は、試験結果の90%を得点とみなす。

但し、追試験に至った理由が止むを得ないものであると認められた場合は、この限りではない。

進級・卒業の要件等

第18条 追試験又は再試験の手続、その他の事項は、次のとおりとする。

- (1) 追試験又は再試験を行なう日時、場所及び方法は学校が指定する。
- (2) 追試験を受けようとする者は、欠席理由を明記した追試験願を事前に提出しなければならない。
- (3) 追試験又は再試験の願い出には、願書に追試験及び再試験1科目ごとに2,000円を添えなければならない。
- (4) 再試験については、特別な補講をもってこれにかえることができる。
- (5) 病気その他止むを得ない理由により追試験又は再試験を欠席する場合には、欠席理由を明記した追試験又は再試験延期願を事前に提出しなければならない。
この場合にあつては、追試験又は再試験料は免除する。

(補講の取扱)

第19条 出席率が別途定める基準に満たない者に対しては、その科目について願い出により補講を行なうことができる。

2 補講の手続、その他の事項は、次のとおりとする。

- (1) 補講を行なう日時、場所及び方法は、学校が指定する。
- (2) 補講の願い出は、願書に補講料1科目毎に1時限当り2,000円を添えなければならない。
- (3) 国土交通省の定める自動車整備士養成課程における教育科目(専門科目)以外の科目の補講については、特別な報告書をもってこれにかえることができる。
- (4) 病気、その他止むを得ない理由により、補講を欠席する場合には、欠席理由を明記した補講延期願を事前に提出しなければならない。ただし、この場合、補講料は免除する。

(学習評価の通知)

第20条 期末及び卒業試験の学習評価の結果は、学生及び保護者または保証人に通知する。

進級・卒業の要件等

(修了の認定)

第21条 各科目の修了は、その科目の出席の状況及び試験の成績を勘案して認定する。

- 2 「教育科目履修等認定委員会」において修了したものと認定することができる
本校以外での学修は「専修学校設置基準の一部を改正する省令(平成11年文部科学省令第47号)」で定める範囲とする。
- 3 「教育科目履修等認定委員会」の運営の詳細は別に定める。
- 4 一級自動車研究開発学科2学年の全科目について課程の修了を認定した者には、別途定める修了証を交付する。
- 5 自動車整備留学生科1学年の全科目について課程の修了を認定した者には、別途定める修了証を交付する。

(原級留置)

第22条 学則第21条2項で定める「一級自動車整備士養成課程の受講に必要な二級自動車整備士資格」とは、
2級ガソリン及び2級ジーゼル自動車整備士の資格をいう。

(卒業の認定)

第23条 卒業認定会議の結果、卒業に必要な全科目が一定の基準に達し、出席率良好、性行良好と認められるものには、校長が卒業を認定する。

- 2 卒業証書の様式は別に定める。

学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

公的資格名称	一級自動車 研究開発学科	自動車 整備科	自動車整備 留学生科
国家一級自動車整備士	● (一級コース)		
国家二級自動車整備士	●	●	●
国家三級自動車整備士			●
損害保険募集人資格	●	●	●
ガス溶接特別教育講習	● (開発コース)		
アーク溶接特別教育講習	● (開発コース)		

本田技研工業(株)の認定資格	一級自動車 研究開発学科	自動車 整備科	自動車整備 留学生科
ホンダ四輪サービスエンジニア 2 級	● (一級コース)		
ホンダ四輪サービスエンジニア 3 級	●	●	●
ホンダモーターサイクルサービスエンジニア 3 級		●	
ホンダセーフティコーディネーター	●	●	

資格取得、検定試験合格等の実績（2023年度）

公的資格名称	一級自動車 研究開発学科	自動車 整備科	自動車整備 留学生科
国家一級自動車整備士	88.5%	—	—
国家二級自動車整備士	100% (2年修了時)	100%	100%
国家三級自動車整備士			100% (1年修了時)
損害保険募集人資格	73.3%	68.6%	15.8%
ガス溶接特別教育講習	—	—	—
アーク溶接特別教育講習	—	—	—

本田技研工業(株)の認定資格	一級自動車 研究開発学科	自動車 整備科	自動車整備 留学生科
ホンダ四輪サービスエンジニア 2 級	100%	—	—
ホンダ四輪サービスエンジニア 3 級	100%	89.1%	94.2%
ホンダモーターサイクルサービスエンジニア 3 級 (ホンダ二輪販売店就職内定者)	—	100%	—
ホンダセーフティコーディネーター	100%	98.6%	—

卒業生数、卒業後の進路（2023年度）

学科	卒業生数	就職希望者数	就職者数	主な就職先	進学者数	主な進学先	
自動車整備科	74	69	69	本田技研工業株式会社 株式会社エフテック 武蔵精密工業株式会社 株式会社オートテックジャパン 株式会社M-TEC 株式会社ホンダテクノフォート 合志技研工業株式会社 株式会社ホンダユーテック 株式会社ホンダモビリティ近畿 株式会社ホンダモビリティ中四国 株式会社ホンダモビリティ中部 株式会社ホンダ四輪販売南九州 株式会社ホンダ泉州販売 株式会社ホンダネット京奈 株式会社ホンダクリオ南海 株式会社ホンダ北大阪 ダイナーホンダ販売株式会社 株式会社ホンダクリオ明舞 ホンダ奈良自販株式会社 空港自販株式会社 ホンダ販売フタバ株式会社 株式会社ホンダ四輪販売山陽 株式会社ホンダカーズ三重 株式会社ホンダ四輪販売三重北 株式会社ホンダカーズ東京 ホンダ山陰中央株式会社 沖縄ホンダ株式会社 株式会社ホンダカーズ北九州 株式会社オールホンダ 株式会社ホンダドリームジャパン 株式会社エントリー 株式会社桜井ホンダ	トヨタカローラ南海株式会社 トヨタカローラ大阪株式会社 いすゞ自動車近畿株式会社 ホンダ運送株式会社 株式会社ヤナセ 大阪トヨベット株式会社 株式会社光岡自動車 株式会社ヤナセ 一般社団法人日本自動車連盟 (JAF) トヨタL&F近畿株式会社 株式会社サード 軽自動車検査協会 自動車技術総合機構 東京海上日動調査サービス 株式会社 株式会社スズキ二輪 株式会社シバックス マツダ株式会社 株式会社キタコ 大同工業株式会社 株式会社ベストテックスキョーエイ 株式会社東京R&D 山王テック株式会社 株式会社アーク 株式会社アスパーク	3	ホンダ テクニカル カレッジ 関西 (一級自動車研究開発学科編入) 他
一級自動車研究開発学科	49	49	49		0	-	
自動車整備留学科	69	67	67		0	-	